

生涯学習情報誌

Life Learning

2021
Feb.
NO.366

店長を憧れのポジションに変える、現場人事の専門家を養成

■現場の人材問題解決のために

(株)パーソル総合研究所は、人材派遣を始めとした様々な人材サービスを提供するパーソルグループの総合研究機関。グループビジョンである「はたらくて、笑おう。」の実現に向けた調査・研究、コンサルティングサービス、人事関連サービスの提供を通して、企業の持続的な成長をサポートしている。

同社では2018年、チェーン店などの現場で働くアルバイト、パートの課題解決をする専門組織「フィールドHRラボ」を開設した。設立責任者でエバンジェリストの日比谷勉氏は、日本マクドナルドに31年間勤務し、現場の人事に携わってきた。日比谷氏は、アルバイトの採用や教育においてマクドナルド独自のシステムを確立し、世界中のマクドナルドから優秀な業績を残した者に贈られる「プレジデントアワード」を受賞した実績も持つ。パーソル総合研究所においては様々な企業に対して講演や研修を行うほか、より広く社会に貢献するために、2019年、当財団の資格認定団体として「フィールドHRスペシャリスト」養成講座を開講した。

■負のスパイラルを解決できる専門家を育成

日本は世界屈指の少子高齢社会となり、人手を要するサービス業の現場は構造的に人材が不足している。採用担当者から、「アルバイトがすぐ辞めてしまうのですが、何をすればいいのですか？」という悩みが、パーソルにもよく相談がある。

●株式会社パーソル総合研究所

東京都千代田区一番町8番地 住友不動産一番町ビル

URL: rc.persol-group.co.jp

フィールドHRラボ

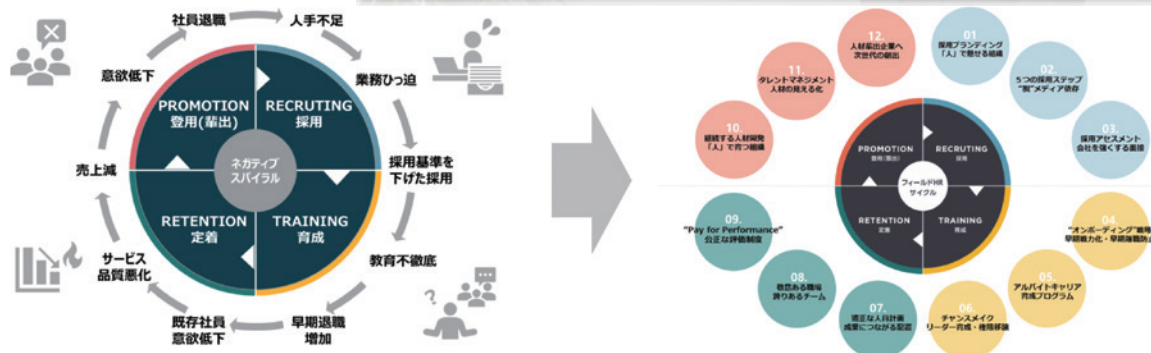
rc.persol-group.co.jp/field-hr

1998年 法人設立

2018年 フィールドHRラボ設立

2020年 資格認定団体登録

責任者: 日比谷 勉



現場を見るとほとんどの場合、人が辞めるのを止められない↓慌てて採用↓忙しくて教えられない↓仕事ができない↓面白くないから辞める、といった負のスパイラルが起きている。慢性的な人手不足によって、当然ながらサービスの品質低下にもつながる。この問題を、現場人事のスペシャリストとして解決にあたり、業績アップに繋がるポジティブなスパイラルに転換していくのが、フィールドHRスペシャリストである。

これまでも、組織論や正社員の人材戦略などの研究はあるが、非正規雇用に関しての体系化された理論やノウハウはなかった。現場をよく知る日比谷氏の実体験と、パーソル総合研究所の研究理論をもとに、認定資格が実現した。

■バイト経験が成長機会となる社会に

現在の日本で人手不足を担うのは、女性、シニア、外国人、ロボットなどによる自動化とされているが、今、コロナ禍によって非正規雇用の特に女性の失職が大変な状況になっている。目先の収益にこだわる企業の立場からは仕方ないのかもしれないが、日比谷氏は言う。

「正規と非正規の差は待遇面だけではありません。コロナ感染のリスクを抱えながら、現場を動かしているにも関わらず、仕事に誇りが持てないのです。ずっと続けたい、がんばって店長になりたいと思える職場にすること。バイト従業員の誇りとスキルアップ、企業の業績向上、両方を同時に実現する社会に変えていきたいのです」

戦争を語り継ぐ演劇公演 第7弾

「アニーさん」

※松田妙子著『私は後悔しない～兵蔵とアニーの愛の生涯』より

演出：伊藤 敬 受賞記念公演

令和元年「愛知県知事表彰」

令和二年度「地域文化功労者」（文部科学大臣表彰）

企画・構成・脚本・演出：伊藤 敬

出演：アニー役 小嶋彩子、兵蔵役 大橋匠 ほか40名以上

主催：戦争を語り継ぐ演劇公演の会

名古屋市文化振興事業団「東文化小劇場」

★劇場で観劇の場合

公演日時 2021年3月11日(木)～14日(日)

各日とも11時～／15時～の2回公演

会場 東文化小劇場

名古屋市東区大幸南1-1-10

TEL 052-719-0430

★有料同時配信で観劇の場合

（詳細は公演Webサイトで）



公演Webサイト annie-san's homepage

<http://www.maroon.dti.ne.jp/annie-san/>



ブログ annie-san's blog

<https://annie-san.amebaownd.com/>

※新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で実施しますが、感染拡大状況によっては変更になる場合があります。
随時Webサイトでご確認ください。

●「アニーさん」について（Webサイトより）

アニーの本名はアニー・バロズ・シェプリー。1600年代に新天地を求めてアメリカ大陸に渡った冒険心に富む開拓者の血筋を引く快活な女性でした。40才を過ぎて、日本人留学生の大森兵蔵と出会って人生が変わります。明治の末期、日米の結婚などあり得なかった時代。アニーは年下の兵蔵の妻として日本にきました。不安や困難が待っていたことは言うまでもありません。そして、結婚後数年で早世した夫の死を故郷のニューイングランドで悲しんだアニーは再び、そして永久に日本へ帰ることを決心します。夫がやり残した社会福祉施設「有隣園」の仕事を成し遂げるためでした。それが夫への愛の証でした。（松田妙子著「私は後悔しない～兵蔵とアニーの愛の生涯」より）

松田妙子さんは兵蔵さんの姪に当たる方で、この本を「戦争を語り継ぐ演劇公演」の題材にならないかと紹介して下さいしたのは東京の林光子さんです。林光子さんはシリーズ3作目の「噂」の提案者でもあり、今回の「アニーさん」に登場する松前重広さんの娘さんです。松前さんは北海道の松前藩のお殿様の直系です。

演劇はフィクションによって成り立ちます。しかし今回の「アニーさん」も過去のシリーズと同様に事実の重みと事実が訴える強さを大切にしたいと考えています。

そして今はコロナ不安の時ですので、観ていただく方が生きる希望ややる気を起こしていただけるような内容になるように努めます。不安と困難を承知しながら、冒険心を持って生きた人への讃歌であるとともに、貫いた愛の尊さをお伝えしたいと思っています。



今度は、大森兵蔵と安仁子（アニー・シェプリー）が舞台に！



11月、河口湖の有隣園資料館を訪れた伊藤敬氏ら。



12月、総勢50名での稽古風景。



1月、出演する子役も参加して雛祭りのシーンを稽古。